

購入時のご注意 万一、保証書ロット番号と本体ロット番号が違っていた場合は、商品をお使いになる前に弊社へご請求ください。

取扱説明書 と 保証書

この取扱説明書には、ピータイムの標準
取付方法及び注意が説明してあります。
本書をよく読んで理解してから取付及び
ご使用ください。本書は常に手もとにお
いてご使用中にわからないことや具合の
悪いことがおきたときにもよく読んで内
容を理解してご使用ください。

BeTime 325

目次

本機について

1. 各部の名称 1・2
2. 取付け前の注意 3
3. 使用上の注意 4
4. 取付け時の注意とタップの使用法 5
5. 配線システム図と仕様 6

取付けについて

1. 取付け手順概略 7
2. 動作検出方法の選択 8・9・10
3. エンジンスイッチの選択 10
4. ストップ回路の方式と注意 11
5. 専用ハーネス・リレー部の配線 12
6. 専用ハーネスを車へ取付け 13
7. アース端子(黒コード)の正しい取付け 14
8. 受信アンテナの配線 15
9. ボンネットスイッチの取付け 16
10. ホーン機能について 16

セットについて

1. IDメモリーのセット時の注意とセット方法 17

2. 動作確認と対策方法

1. ストップ回路(Err-表示)の確認 …… 18
2. セルタイムの確認 …………… 19
3. キースイッチ優先回路の確認 …………… 19
4. ホーン機能の確認 …………… 20
5. ボンネットスイッチの確認 …………… 20

3. リモコンについて …………… 21

4. リモコンでエンジンスタートさせた時の
アイドリング時間の変更 …………… 22
5. マニュアルターボタイマーのセット …… 23
6. コードの収納・据付 …………… 24

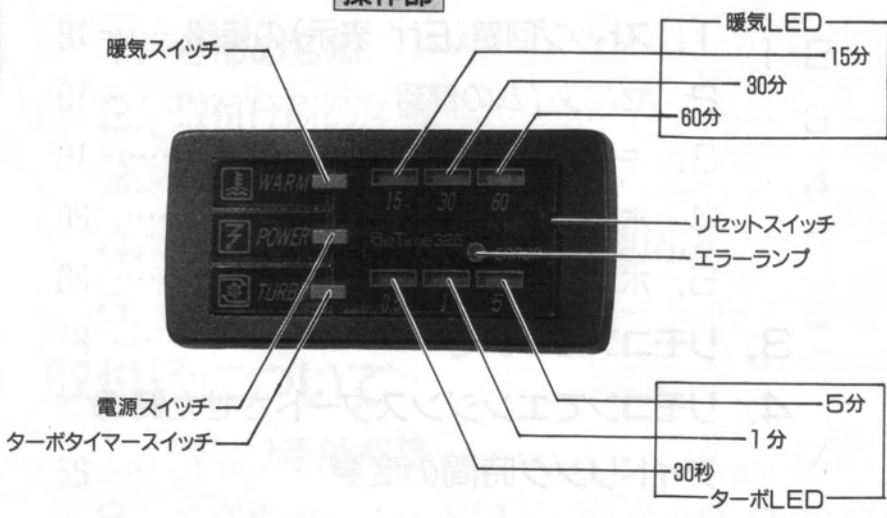
車のL端子コードの色一覧表1 … 25**車のL端子コードの色一覧表2 … 26****車のL端子コードの色一覧表3 … 27**

本機について

本機について

1. 各部の名称

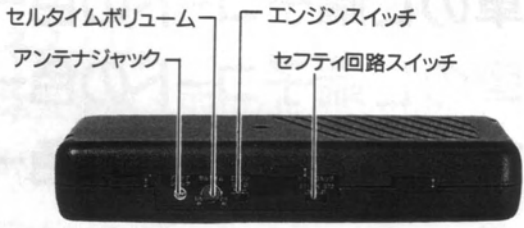
操作部



リモコン

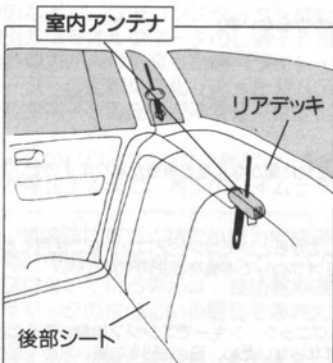
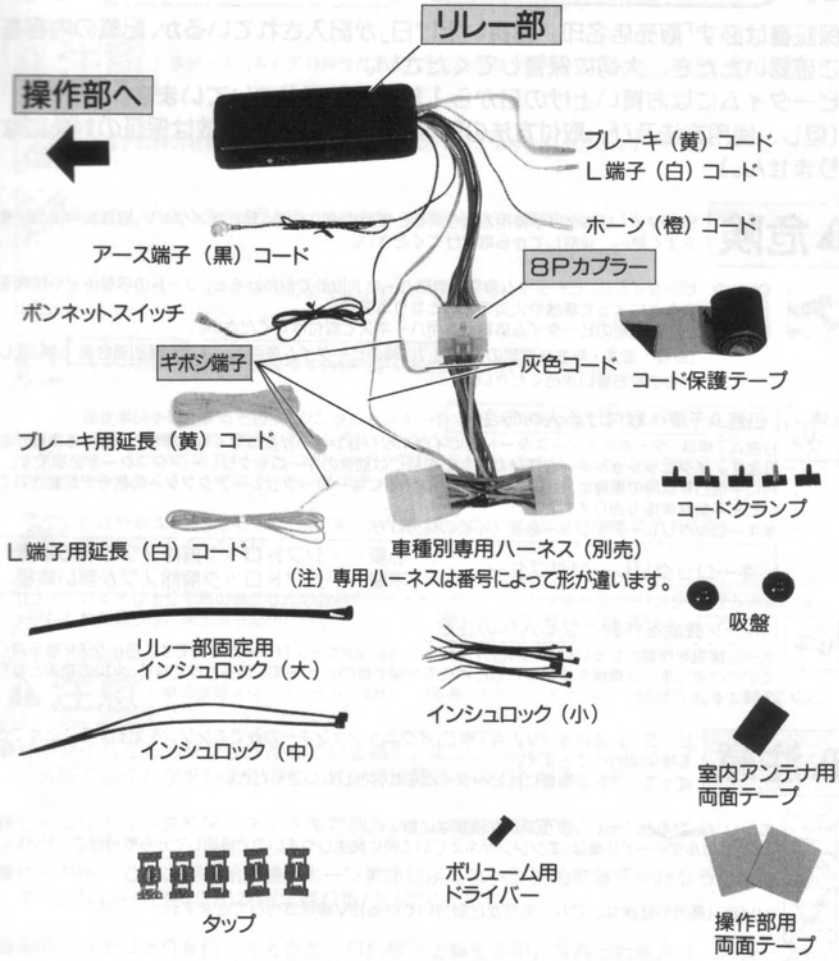


リレー部



本機について

本機について



本機について

2. 取付け前の注意

- 保証書は必ず「販売店名印」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- ピータイムにはお買い上げの日から1年間の保証がついています。
(但し、使用方法及び、取付方法の誤りによる故障及び事故は保証の対象になりません。)

⚠ 危険

ピータイムは取付けや使用方法を誤ると事故や火災を招く恐れがあります。取扱説明書の注意をよく読み、理解してから取付けてください。



ピータイムは、ピータイム車種別専用ハーネス以外で取付けると、コードの容量不足や接触不良などによって事故や火災の原因となり危険です。

必ず、別売のピータイム車種別専用ハーネスで取付けてください。

(車種・型式・年式を確認の上「96.7以降のピータイム専用ハーネス車種別適合表」より正しいものをお買い求めください。)



日産AT車へ取付ける人への注意

日産AT車は、ターボタイマースタート時にイグニッションキーが抜けなくなる車種と、抜ける車種があります。イグニッションキーが抜けなくなる車種には別売のキーロックリレーアダプターが必要です。特に平成5年以降の車種は、ピータイム車種別適合表にキーロックリレーアダプターの番号が記載されていても不要な車種もあります。

●キーロックリレーアダプター必要・不要の見分け方

キーロックリレーアダプター	必要	——シフトロック解除ノブが有る車種
	不要	——シフトロック解除ノブが無い車種



ホーン機能を作動させる人への注意

ホーン機能を作動させるには、(別売)オプションBe-958ホーンリレーが必要です。Be-958を指示通りに取付けずにホーン機能を作動させると本機の故障や車のヒューズを切るだけでなく、火災の原因となり危険です。

⚠ 注意

ピータイムは国産12VのAT車で、イグニッションキーのみでエンジンを始動することができる車に取付けできます。

従って、下記の車種にはピータイムを取付けしないでください。



エンジン始動直後、チャージランプが消えない車
(メカニカルディーゼル車は、エンジンが冷えている時に発生しやすいので確認してから取付けてください。)



24V車 (寒冷地仕様などでバッテリーが2個付いている12V車は取付けできます。)



マニュアルミッション車



キャブ車 (イグニッションキーのみでエンジンがかからない車)



輸入車

⚠ 注意

下記装置はピータイムを装着すると、正常に働かなくなる車種がありますので、ご容赦ください。



リモコンドアロック (リモコンでエンジンオフしてから、リモコンドアロックをご使用ください。)
セキュリティシステム (セキュリティシステムをオフにして本機をご使用ください。)



オートポジションステアリング&シート
(乗車時、リモコンでエンジンをオフしてからイグニッションキーでエンジン始動してください。レジエ
ンドDPS装備車は、取付け時に解除しなければならないため、Be-959をお買い求めください。)



オートヘッドランプ
(降車時、オートヘッドランプをオフにしてからイグニッションキーを抜いてください。)

3. 使用上の注意

▲ 注意

事故・火災などの危険性がある、下記の状態や場所での使用はしないでください。



公道や公共の駐車場での使用は法令違反となります。必ず私有地でご使用ください。



排気ガス中毒の危険性がある、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。



ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。



火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。



暴走事故を防止するため、イグニッションキーをオフにする時はATシフトをPポジションに入れ、ハンドブレーキを確実に利かしてから行なってください。
特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、Pポジション以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。



けがや事故を防止するため、ボンネットを開けている時や、他の人が車を使用する時は、ピータイムの電源をオフにしてください。



バッテリー上りや車の暴走などの危険を防止するため、バッテリー交換など一端ピータイム本体の電源が切れた場合は、電源復帰直後に必ずIDメモリーのセットを行なってください。

▲ 注意

車の故障又はピータイムの機能上の支障の可能性がある、下記の使用方法は注意してください。

- ピータイムでエンジンがかかっている時に、エンジンキーをセルまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので、オンの位置で止めてください。
- リモコンのケースやアンテナを手で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- ピータイムでエンジン始動後、ホーン機能によるエンジン始動確認を行なうためには別売のホーンリレー (Be-958) を指示通り取付けてください。
- 車のバッテリー上りを防止するため、8日間以上車を使用しなかった場合は、スリープ機能が作動し、リモコンを受け付けなくなります。再使用する場合は、一度イグニッションキーをオンにしてオフにするか、操作部スイッチのどれかを押してください。
- 下記原因などで、リモコンスターター機能が正常に作動しない車があります。この場合、動作検出方法をオルタネータのL端子で検出してください。
 1. 消費電力が大巾に変わった時 (ライト・熱線など)
 2. モーターの回転に変化があった時 (デュアルエアコン・ワイパー・電動ファンなど)
 3. オルタネータの充電が不安定又は変化があった時
- ピータイムのパワーオン/オフ時には、安全確認を行なうためイグニッションキーオフ後、エンジンが停止するまで、若干のタイムラグがあります。

本機は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。従って、以下のことを守ってください。

- ① 製品に付いている表示は、技術基準適合証明マークです。
- ② 表示マークの付いている製品を郵政大臣の許可無しに改造して使用することはできません。
- ③ 改造すると法律により罰せられます。

本機について

4. 取付け時の注意とタップの使用法

⚠ 危険

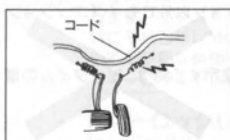
取付け方法を誤ると、月日が経ってからでも1~5のような事故を招く恐れがあります。

1. 車や車庫などの火災
2. 人身、物損事故
3. 走行不能
4. セルモーター・バッテリー・コンピュータなどの破損
5. ビータイム本体の破損

前項の1. **取付け時の注意**、2. **取付け前の注意** 及び3. **使用上の注意** をはじめ、各項目の指示をよく読み、理解してから取付けてください。

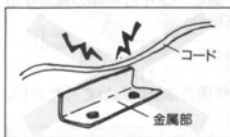


- 作業前に必ず、タイヤの前後に輪止めを利かせてください。
- ATシフトはPレンジへ、ハンドブレーキはしっかり利かせてください。



コード保護テープ

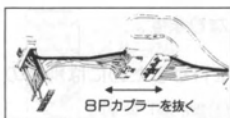
- ビータイムのコードが車の金属部(ペダル・スプリング・鋭利な鉄板など)に触れていると、月日が過ぎてからコードの被覆が削れて、ショートする恐れがあります。



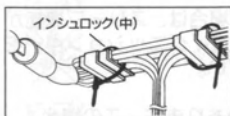
インシュロック(小)

- コードが金属部に触れないように、インシュロック(小)を使って配線してください。
- コードが触れそうな金属部に、コード保護テープを貼ってコードを保護してください。
- コードの配線確認や配線のやり直し等を考えて、コード保護テープは貼り直しができませんので、必ずコードではなく、金属部に貼ってください。
- ビータイムを設置する時はヒーターの出口や直射日光など熱くなる場所をさけてください。

重要 →



- 取付け作業中に「異常かな」と感じた時は、すぐに専用ハーネスとリレー部を絡ぐBPカプラーを抜いてください。



- 専用ハーネスにロック機構の付いていない場合は、インシュロック(中)を使用して抜けないようにしてください。

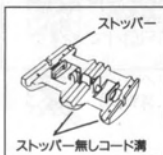
IDメモリーは
すぐに

- コンピュータの暴走で事故・故障を防止するため、専用ハーネスと操作部アース端子の取付け直後には、必ずIDメモリーのセットを行なってください。

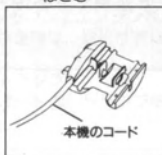
■タップの使用法

●タップの使い方が誤っていると、接触不良または、ボディへのショートなどが発生し危険です。下記の手順で使用してください。

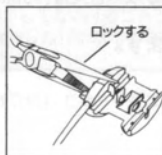
1. タップを図のように見る
2. ストッパー付コード溝に本機のコードをはさむ
3. プライヤーなどでロックする
4. ストッパー無しコード溝に車側のコードをはさむ
5. プライヤーなどでロックする



ストッパー無しコード溝



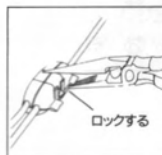
本機のコード



ロックする



車側のコード



ロックする

取付けについて

1. 取付け手順概略

動作検出方法の選択

1. オルタネータのL端子で検出する方法を選択しなければならない車種は、

L端子(白)コードの配線及びセット方法

2. 電源から自動検出する方法を選択する場合は、

電源から自動検出する場合のセット方法

エンジンスイッチの選択

ストップ回路の方式と注意

1. フットブレーキへ配線する方法を選択しなければならない車種は、

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線する方法

セフティストップ回路スイッチをBKにする
フットブレーキを踏んで12Vになるストップランプ
スイッチのコードを放して0Vにする

2. ATシフトストップの方法を選択する場合は、

ATシフトストップの方法を選択する場合

セフティストップ回路スイッチを
ST1・ST2にする

専用ハーネス・リレー部の配線

1. 専用ハーネスのBPカプラーとリレー部のBPカプラーをさし込む
- ↓
2. 専用ハーネスの仕様によって①②③の配線方法から選択して作業する
- 注意 ②③に該当する専用ハーネスは灰色コードの差し替えを必ず行なってください。

専用ハーネスを車へ取付け

アース端子(黒コード)の正しい取付け

受信アンテナの配線

IDメモリーのセット時の注意とセット方法

ボンネットスイッチの取付け

取付けについて

2. 動作検出方法の選択

■ピータイムはエンジン始動やターボタイマーの動作検出を2パターンの方法のいずれかを選択して取付けします。

1 オルタネータのL端子で検出する方法 を選択しなければならない車種 (検出の確実性→高)

- トヨタ クラウン(120・130系)・デュアルエアコン装備車・ディーゼル全車
- 日産 セドリック・グロリアなど(G・Y系)・ディーゼル全車・デュアルエアコン装備車
- 三菱 ディーゼル全車・インベックスⅡ装備車
- イスズ ディーゼル全車

その他の車種でも、電装品のノイズが多い車・低温時のアイドリングが低い車などは検出の確実性の高いオルタネータのL端子で検出する方法を選択してください。

■L端子の見つけ方

L端子は、車のオルタネータ(発電器)から出ている細いコード2~3本のうちの1本です。

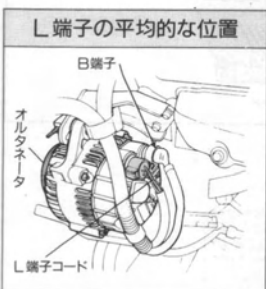
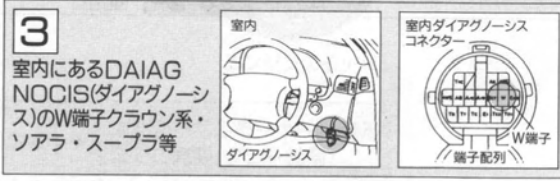
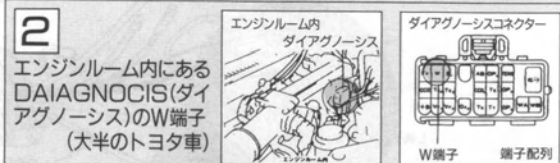
L端子の基準電圧は (イグニッションキーON(エンジンがかかっていない)の状態) 4V以下
(イグニッションキーON(エンジンが始動している)の状態) 6V以上

注意

- L端子が上記基準電圧外の車はエンジン始動の検出ができません。
- L端子コードはL端子コードの色一覧表を参考に見つけてください。

■トヨタ車(A型エンジン以外)の大半の車は下記の場所でもL端子検出ができます。(注意1)

(注意1)トヨタ車でも1)2)3)が無い車、又はあってもL端子基準電圧外の車もあります。したがって配線前に必ずL端子電圧が基準電圧になっているかを確認してください。



取付けについて

取付けについて

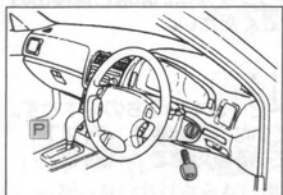
1 オルタネータのL端子で検出する方法

▲注意

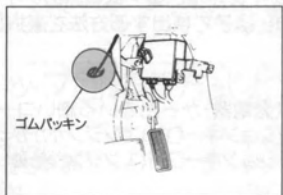
- L端子(白)コード及び、延長(白)コードが車の金属部にショートすると車の故障や火災の原因になります。そのコードが触れそうな金属部にはコード保護テープを貼りつけ、インシュロック(小)を使用して保護してください。(コードの配線確認や、配線のやり直し等を考えて、コード保護テープは貼り直しができませんので、必ずコードではなく、金属部に貼ってください。)
- L端子にコードを配線する時は、必ずイグニッションキーを抜き、ピータイムの電源を切った状態で行ってください。

オルタネータへ配線したケースで説明してあります。

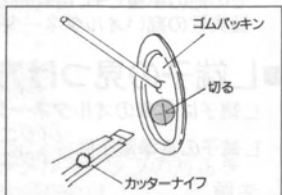
1. ATシフトをPにしてイグニッションキーを抜く



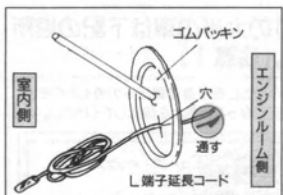
2. エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、コードが通る場所をさがす



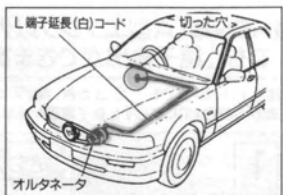
3. コードが通るようにカッターナイフなどで、ゴムパッキンなどを切り穴を開ける



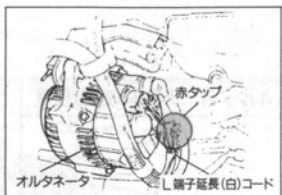
4. 切った穴にL端子延長(白)コードをキボシ端子の付いていない方から入れる



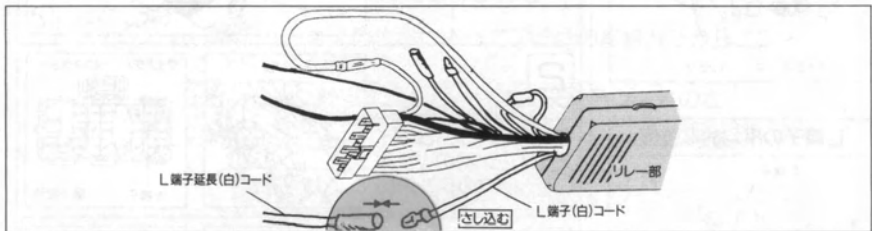
5. 車のL端子コードまでL端子延長(白)コードを配線する



6. 車のL端子コードと、配線したL端子延長コードを付属の赤タップで結線する



7. リレーボックスから出ているL端子(白)コードと、L端子延長(白)コードをさし込む。



2 電源から自動検出する方法

2 電源から自動検出する方法 を選択する場合

(検出の確実性→中)

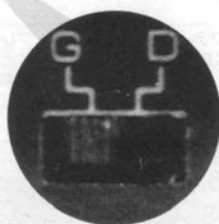
- 1 のオルタネータのL端子で検出する方法 に対し、取付けが簡単になりますが、電源ノイズの影響を受けやすいため、電装品の使用状態によっては、エンジン始動ができない場合があります。
- 1 のオルタネータのL端子で検出する方法 でL端子が基準電圧外の場合、電源から自動検出する方法を選択してください。

セット方法

L端子配線などせず、そのままOKです。

3. エンジンスイッチの選択

- エンジンの種類 (ガソリン車・ディーゼル車) や特性に合わせて、リレーボックスのエンジンスイッチを選択します。



エンジンスイッチ

エンジンスイッチ	オンからセルモーターが回るまでの時間(グロー時間)
G(ガソリン車)	1.5秒
D(ディーゼル車)	5秒

取付けについて

4. ストップ回路の方式と注意

■ビータイムはイグニッションキーをONまで回さずに走りしようとする
と操作部のエラーランプが点灯してエンジンをストップさせます。また、
元のスタンバイ状態に復帰させる時は、イグニッションキーをONまで回
すとエラーランプが消えます。

ビータイムのストップ回路は **1** フットブレーキ(ストップランプスイ
ッチ)へ配線する方法 とATシフトレバーをPポジションからRポジ
ションへ移動した時に自動ストップする **2** ATシフトストップの方法 が
あります。下記の指示に従って選択してください。

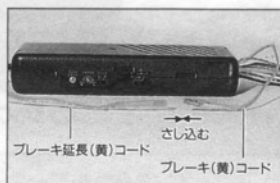
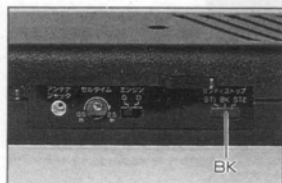
1 フットブレーキ(ストップランプスイッチ)へ配線する方法 を選択しなければ
ならない車種

注意 下記に該当する車種で、フットブレーキ配線を行なわなかった場合、車の故障を招
く恐れがありますので、必ずフットブレーキ配線を行なってください。

- **トヨタ** ワンボックス車とディーゼル車とオートエアコン装着車
- **日産** 全車(ディーゼル車含む)
- **三菱** デリカ(スペースギア・スターワゴン)
- **ホンダ** レジェンド全車
- ビータイムでエンジン始動した時にセルが回り続ける車種
- エアバックなどの警告ランプが点灯する車種
- **2** ATシフトストップの方法 で、リレーボックスのセフティストップスイッチ
をST1、ST2のどちらに設定してもエンジンが止まらない車種
- **2** ATシフトストップの方法 で、ATシフトレバーを移動しなくても操作部の
表示部のエラーランプが点灯してしまい、ビータイムでエンジン始動ができない
車種

■ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線する方法

- 1.** リレー部のセフティ回路
スイッチをBKにする
- 2.** ブレーキ用延長(黄)コード
とブレーキ(黄)コード
のギボシをさし込む
- 3.** ブレーキ用延長(黄)コード
をフットブレーキを踏
んで12V、放して0Vの
コードへタップで結線す
る



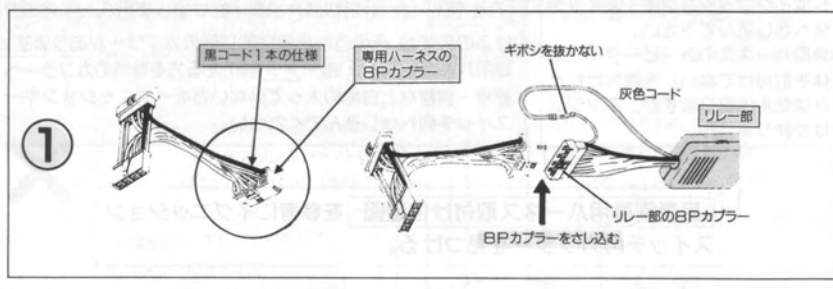
5. 専用ハーネス・リレー部の配線

■下記の説明図はBe-151の専用ハーネスをモデルとしています。

下記の①②③から専用ハーネスの番号と黒又は灰色コードの仕様を確認のうえ、それぞれの配線方法に従って作業を行ってください。

専用ハーネスの8Pカプラーに黒コードが1本の場合の配線方法

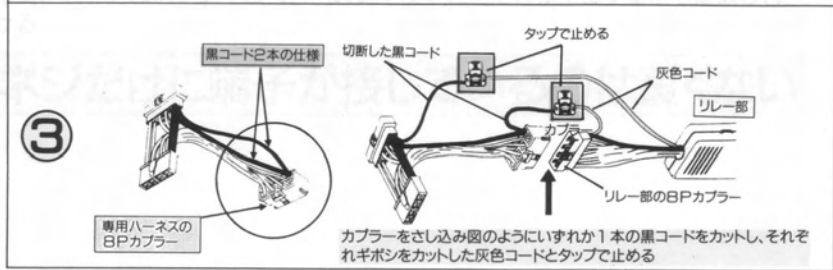
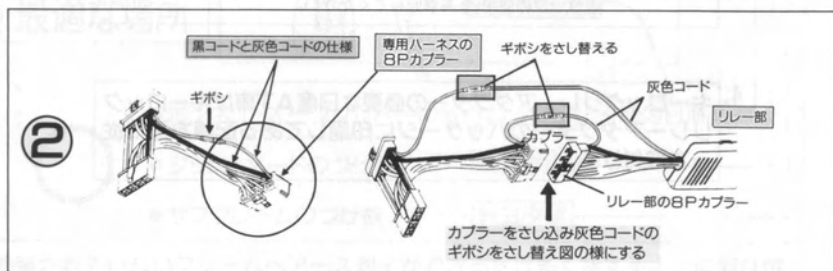
灰色コードのギボシを抜かずにカプラーをさし込む専用ハーネス番号	Be-	156	161	241	351	352
		353	354	355	455	458
		553	554	555	651	652
		751	752	753	754	755
		851	852	853	854	855
		856	857	858	859	860
		861	862	863	864	865



専用ハーネスの8Pカプラーに黒コードが2本又は、黒色と灰色コードがある場合の配線方法

この灰色コードのさし替えは必ず行なってください。灰色コードのさし替えを行わない場合、エアコンが正常に動作しない、ATシフトストップが働かない、アイドリングが不安定になる、オルタネータの破壊、バッテリー上り、車のコンピュータ破壊などを引き起す車種があります。よって誤りのない様に配線してください。

灰色コードのギボシを抜き替えてカプラーをさし込む専用ハーネス番号	Be-	151	152	153	154	155	157
		158	160				
		251	252	253	254	255	256
		258	259				
		451	452	453	454	456	
		551	552	653			



取付けについて

6. 専用ハーネスを車へ取付け

取付けについて



参考資料

- (緑/白)線・(黄/白)線・(黄/白)線など白ラインの入っているコードを車側へ、白ラインの入っていないコードはイグニッションキースイッチ側へさし込んで下さい。
- 専用ハーネスのみ (ピータイム本体を取付けてない) を取付けたときはセルは回りますが、エンジンはかかりません。

品番別専用ハーネス取付け位置図

一般車 イグニッションキースイッチの裏から10~30cmにカブラーがあります。

イグニッションキースイッチ直付 Be-155・160・161・253・259・352・354・355・453・454・455・458・651・863

ヒューズボックス付近 Be-852・853・856・857・864・865

イグニッションキー付近とヒューズボックス付近の2箇所

Be-854・855・858・859・860

プレリウド (Be-858) 取付注意 ステアリング右下に3P、ヒューズボックス上に5Pをさし込む

ステアリング右下に5Pを結線するとピータイムのIG2が壊れます。

Be-351 は合計3個のカブラーをはずし専用ハーネスを付けるのですが、そのうち2個は同じ形のカブラーがあります。専用ハーネスの(緑/白)線・(黄/白)線のある方を車側のカブラーへ緑線・黄線など白線の入っていない方をイグニッションキースイッチ側へさし込んでください。

1. **品番別専用ハーネス取付け位置図** を参考にイグニッションスイッチのカブラーを見つける。

2. イグニッションスイッチのカブラーを抜いて、イグニッションキーをセルまで回し、車の電源が入らない事を確認する。

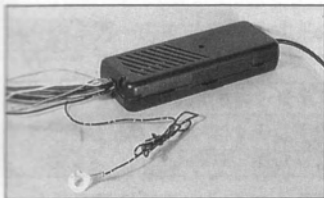
3. 専用ハーネスを車に取付ける。

▲注意 専用ハーネスにロック機構の付いていない場合は、インシュロック(中)を使用して抜けないようにしてください。4. **(取付け時の注意とタップの使用法)** を参照してください。

4. キーロックリレーアダプターの必要な日産AT車はキーロックリレーアダプターのパッケージに印刷してある配線方法に従って取付ける。

取付けについて

7. アース端子(黒コード)の正しい取付け



1. アース端子を下図と注意を参考に取付けてください。
2. コンピューターの暴走で事故・故障を防止するため、IDメモリーのセットをすぐに行なってください。

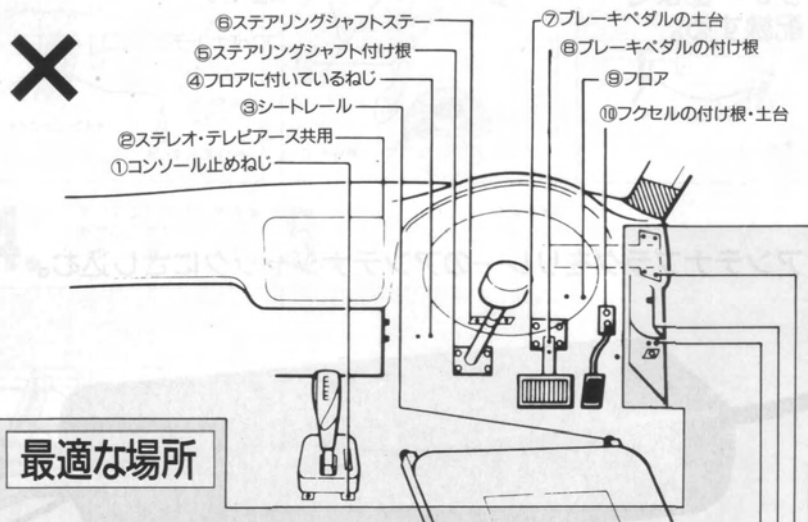
注意

不適切な場所へアース端子を取付けるとリモコンの飛距離が短くなったり、その他のトラブル発生の原因になります。(テスターでアースが取れていても不適切な場所はたくさんあります。)

取付けについて

不適切な場所

①～⑩までのようなフロア(床)からボンネットルームまでの部分及びそれに付いている部分にはアース端子を取付けしないでください。



最適な場所



- ボンネットオープンレバーの取付ねじ — 一部の日産
- ダッシュボードの付け根 — ホンダ車
- サブフレームの付け根 — トヨタ車

塗装されていないフレームへアース端子ができるだけ多く接するように取り付ける

ネジだけに端子が接しているのは良くない

取付けについて

8. 受信アンテナの配線

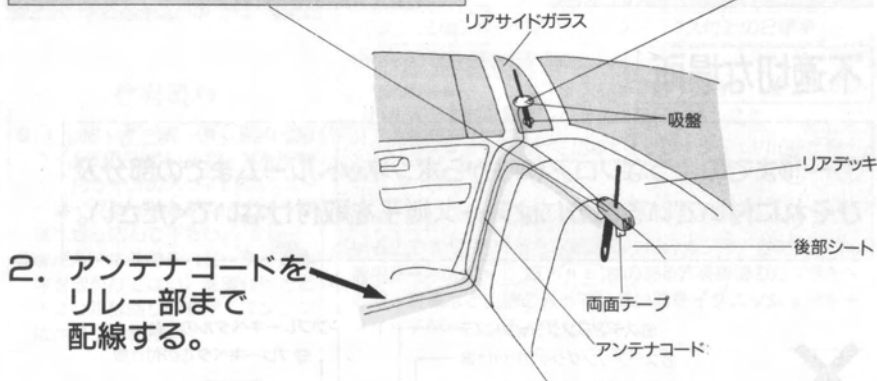
1. 受信アンテナ取付け場所を決定する。

リアデッキのある車

受信アンテナは後部シートとリアデッキの間にさし込み、アンテナ台の底部に両面テープを貼り付けます。

リアデッキのない車

受信アンテナはリアのサイドガラスなどに付属の吸盤で取付けます。



3. アンテナプラグをリレーのアンテナジャックにさし込む。



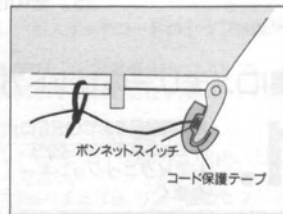
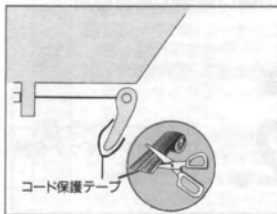
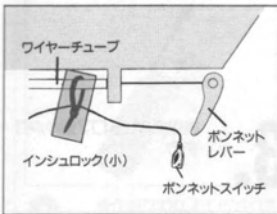
9. ボンネットスイッチの取付け

注意 万一の事故を防止するため、ボンネットスイッチはボンネットレバーに取付けてください。但しワンボックス車などボンネットレバーのない車はニッパなどでボンネットスイッチのコードをカットして絶縁テープを巻いてください。

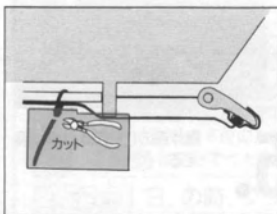
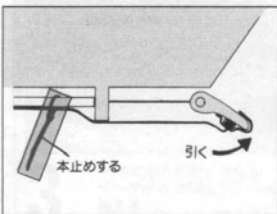
- はたらき**
- ボンネットレバーを引いてボンネットスイッチが押されるとビータイムの電源がオフになり、エラーランプが常時点灯します。
 - ボンネットスイッチは常時（エンジンオン・オフに関わらず）作動します。
 - ビータイムの電源を復帰する時は、イグニッションキーON又はエンジン始動中に操作部のパワースイッチを押して電源を入れてください。

取付け

1. ボンネットスイッチのコードをボンネットレバーのワイヤーチューブにインシュロック(小)でゆるく仮止めする
2. コード保護テープをボンネットレバーの大きさに合うようにカットする
3. ボンネットスイッチをボンネットレバーの裏側にあて、コード保護テープで止める



4. ボンネットレバーを最後まで引いて、インシュロック(小)を本止めする
5. インシュロックの余りをニッパなどでカットする



10. ホーン機能について

- 注意**
- ホーン機能を作動させるには(別売)オプションBe-958ホーンリレーの配線を行わないと機能しません。
 - Be-958ホーンリレーを使用せずに配線を行なうと、エアバックの誤作動、車のホーンヒューズ切れ及びビータイムが故障する恐れがあります。

はたらき リモコンでエンジンをスタートしてアイドリング中にリモコンのスイッチをスタート側へスライドするとホーンでエンジンが始動していることをお知らせします。

取付け Be-958ホーンリレーの取扱説明書の指示に従ってください。

セットについて

1. IDメモリーのセット時の注意とセット方法

IDメモリーのセットとは、

リモコンのIDコードをピータイム本体に記憶させることで、他のリモコンや他の電波による誤作動を防止させています。
また、IDメモリーのセットを行っていない時は、ピータイムの電源が入りません。

⚠危険

IDメモリーのセットを行っていない状態は、車の暴走・故障・バッテリー上りなどの原因となり危険です。

●ピータイム取付け後やバッテリー交換後など電源投入後はIDメモリーのセットをすぐに行なってください。

●IDメモリーのセットを行なう時はイグニッションキーを抜き、下記の電源を切って行なってください。

1. セキュリティシステム（盗難防止装置）
2. ドアプザー
3. 携帯電話
4. テレビ・ラジオ等
5. その他の強い電波のある場所

■IDメモリーのセット方法

1.

車の電装品を全てOFFにしてからATシフトをPにしてイグニッションキーを抜く



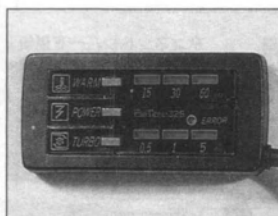
2.

ボリューム用ドライバーでリセットスイッチを押してはなす



3.

操作部のLED7個が点灯する



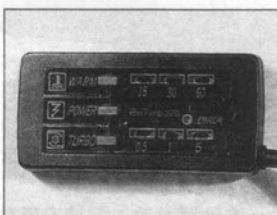
4.

リモコンのアンテナを伸ばし、スイッチをスタート側へ2～3秒スライドさせる（LED点灯）



5.

操作部のLEDが点滅し消える



IDメモリーの
セット終了

2. 動作確認と対策方法

▲ 注意

事故・故障などを防止するためリモコンでエンジン始動のテストを行なって、各動作確認を必ず行なってください。動作確認で正常に働かない場合は下記の対策方法にて対処してから使用してください。

リモコンでエンジン始動のテスト

- IDメモリーのセットが行なわれていないと作動しません。
- ATシフトはPポジションにしてください。
- イグニッションキーは、OFFにしてください。

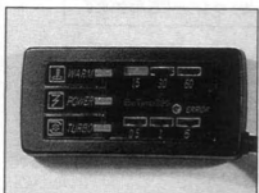
1.

リモコンのスイッチをスタート側へ、2~3秒スライドさせる (LED点灯)



2.

操作部の暖気LEDが点灯する



3.

1.5又は5秒後にセルモーターが回り、暖気LEDが点滅する



4.

リモコンのスイッチをストップ側へ、2~3秒スライドさせる (LED点灯) エンジンがストップする



1 ストップ回路(Err-表示)の確認

確認

リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3.で暖気LEDが点滅(アイドリング)中にイグニッションキーをACCに回し、フットブレーキを踏んでATシフトをPからRにして、エンジンが止まり、エラーランプが点灯すればOK。

トラブル

2. の時、エラーランプが点灯する場合

対策

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線してある場合

- ①リレー部のセフティ回路スイッチをBKにしてください。
- ②ブレーキ(黄)コードをブレーキスイッチコードの常時12Vと結線していませんか?
- ③ブレーキ(黄)コードとブレーキスイッチコードのタップ結線が甘くないですか?
- ④①②③がOKでもエラーランプが点灯する場合は、フットブレーキからサイドブレーキ(引いてOV・解除して12V)のコードに変更してください。

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線していない場合

- ⑤リレー部のセフティ回路スイッチを「ST1の場合ST2」へ、「ST2の場合ST1」へ変更してください。
- ⑥⑤がOKでもエラーランプが点灯するなら、リレー部のセフティ回路スイッチをBKにし、ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線してください。

トラブル

3. の時、セルが一瞬だけ回り、エンジンがかからずエラーランプが点灯又は電源が切れる。

対策

- ①バッテリーの電圧不足又は容量不足のため、バッテリー交換の時期ではないでしょうか?
(再テスト時に、エアコンファン最高、熱線など電気負荷を与えた時に同じ症状になりますか?)
- ②アースの接点不良のため別の場所ア. (アース端子(黒コード)の正しい)取付けに従ってください。

トラブル

3. の時、フットブレーキを踏んでATシフトをPからRにしてエンジンが止まらない場合

対策

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線してある場合

- ①車のストップランプのヒューズが切れていませんか?
- ②①がOKでもエラーランプが点灯する場合は、フットブレーキからサイドブレーキ(引いてOV・解除して12V)のコードに変更してください。

ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線していない場合

- ③⑤、**(専用ハーネス・リレー部の配線)**で灰色のコードのさし替えを行いましたか?
- ④④リレー部のセフティ回路スイッチを「ST1の場合ST2」へ、「ST2の場合ST1」へ変更してください。
- ⑤③④がOKでもエラーランプが点灯するなら、リレー部のセフティ回路スイッチをBKにしブレーキ(黄)コードを、フットブレーキへ配線してください。

トラブル

3. の時、セルモーターが回り続ける場合

対策

リレー部のセフティ回路スイッチをBKにし、ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線してください。

セットについて

▲注意

事故・故障などを防止するためリモコンでエンジン始動のテストを行なって、各動作確認を必ず行なってください。動作確認で正常に働かない場合は下記の対策方法にて対処してから使用してください。

リモコンでエンジン始動のテスト

- IDメモリーのセットが行なわれていないと作動しません。
- ATシフトはPポジションにしてください。
- イグニッションキーはOFFにしてください。

1.

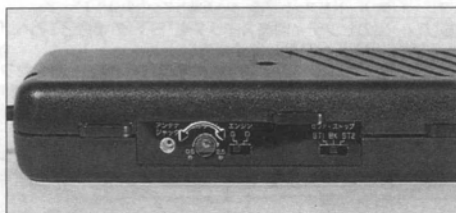
リモコンのスイッチをスタート側へ、2~3秒スライドさせる (LED点灯)



2 セルタイムの確認

確認

リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でセルモーターの回る時間を確認する。



セルタイムを短くする場合

ボリューム用ドライバーで左方向へ回す。

セルタイムを長くする場合

ボリューム用ドライバーで右方向へ回す。

3 キースイッチ優先回路の確認

確認

リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にイグニッションキーをONまで回して、カウントダウンが中止すればOK。

▲注意

イグニッションキーをセルまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので、ONの位置で止めてください。

トラブル

3. の時に、イグニッションキーをONの位置にしてもカウントダウンが止まらない場合

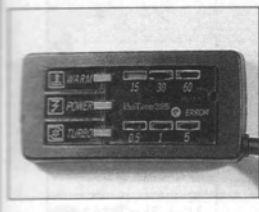
対策

- ①イグニッションキーと専用ハーネスとリレー部の緑コードが接触不良になっていませんか？
- ②専用ハーネスが間違っていないですか？

セットについて

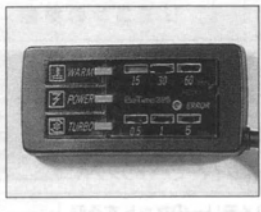
2.

操作部の暖気LEDが点灯する



3.

1.5又は5秒後にセルモーターが回り、暖気LEDが点滅する



4.

リモコンのスイッチをストップ側へ、2~3秒スライドさせる(LED点灯) エンジンがストップする



4 ホーン機能の確認

● (別売) オプションBe-958ホーンリレーを配線した時のみ作動します。

確認

リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にリモコンのスイッチをスタート側へスライドして、ホーンが約0.2秒鳴ればOK。

トラブル

3. の時リモコンのスイッチをスタート側へスライドしてもホーンが鳴らない。

対策

- ①ホーン用コードのヒューズ又は車のホーンヒューズが切れていませんか？
- ②車のホーン方式（プラススイッチ方式・マイナススイッチ方式）に対して配線方法が間違っていないですか？

5 ボンネットスイッチの確認

確認

リモコンでエンジン始動のテストを行ない、3. でカウントダウン中にボンネットスイッチを付けたボンネットレバーを引くと電源が切れ、エンジンがストップします。次に、イグニッションキーをONにしてパワースイッチを押して電源が入ればOK。

セットについて

3. リモコンについて

注意

- リモコンのスイッチは一度電波を出した後は、2秒以上経過してからスイッチを入れないと電波が出ません。
- 駐車時、高温になる車内などにリモコンを置かないでください。
- リモコンを落下するなど強いショックを与えないでください。

はたらき



リモコンの機能	スイッチ
リモコンでエンジン始動する時	スタート
リモコンでエンジンストップする時	ストップ
エンジン始動確認する時(Be-958の配線が必要)	スタート
ターボタイマーでアイドリング中にエンジンを止める時	ストップ
IDメモリーのセットする時	スタート ストップどちらもOK

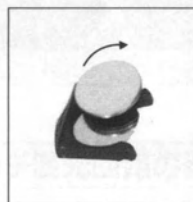
■電池の交換について

- 電波の飛距離が短くなってきた時は電池の交換をしてください。
- 電池はコイン型マンガンリチウム電池 CR2025×2個を使用してください。
- 電池をホルダーにはめる時は、ホルダーの+と2個の電池の+を同じ向きにしてください。

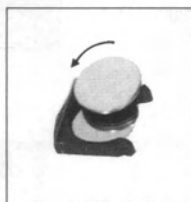
1. リモコンを裏側に向け左下側のスリットに爪を入れ引き出す



2. 2個の電池をホルダーからはずす



3. 新しい電池を2個共ホルダーの+と同じ向きにしてはめる



4. リモコンにホルダーをはめる



■リモコンを紛失した時は、

- 本機はIDメモリー方式(リモコンのIDを操作部に記憶させて使用する方式)を採用しているため、リモコンと本体をセットで交換する必要がありません。したがってリモコンのみの購入で再使用することができます。

購入方法

ご購入された販売店でピータイム325のリモコンをご注文してください。

販売価格 15,000円(税別)



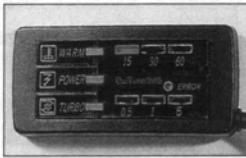
セットについて

4. リモコンでエンジンスタートさせた時のアイドル時間の変更

セット方法

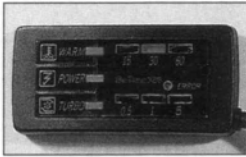
- アイドル時間の初期設定（変更しない場合）は15分です。
- アイドル時間は、15分、30分、60分の3パターン設定できます。
- セットする時、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。

1.



POWER ON

2.



WARMスイッチを押して好みのタイムを設定する。

- アイドルング（点滅）中にエンジンを止める時は

リモコンのスイッチをストップ側へスライドする又はパワースイッチをオフにしてください。パワースイッチでオフにした時、次に使用する場合にはパワースイッチをオンにしないと使用できません。

- アイドルング（点滅）中に走行する時は

イグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みながらATシフトをチェンジしてください。

セットについて

5. マニュアルターボタイマーのセット

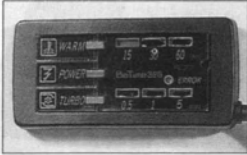
▲ 注意

- ターボタイマーを使用する時、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、ATシフトがPポジション以外でもイグニッションキーが抜けるようになります。
- 従って暴走事故を防止するため、ATシフトをPポジションに入れた事を確認してからイグニッションキーを抜いてください。

セット方法

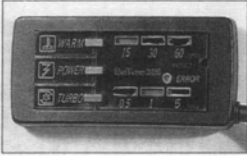
- セットする時、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。
- マニュアルターボタイマーは30秒・1分・5分・OFFの4パターンを設定できます。

1.



POWER ON

2.



TURBOスイッチを押して好みのタイムに設定する

- アイドリング（点滅）中にエンジンを止める時は

リモコンのスイッチをストップ側へスライドする又はパワースイッチをオフにしてください。パワースイッチでオフにした時、次に使用する場合にはパワースイッチをオンにしないと使用できません。

- ターボタイマーを使用しない時は

TURBOスイッチを押してターボLEDを消してください。

- アイドリング（点滅）中に走行する時は

イグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みながらATシフトをチェンジしてください。

リモコンを失った時は、

購入方法

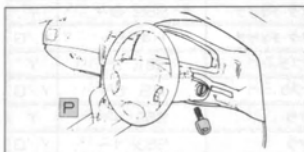
販売価格 15,000円(税別)

6. コード収納・据付

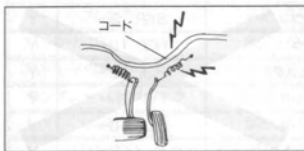
●取付け、各機能の確認後にコードの収納・据付を行なってください。

⚠危険

誤ったピータイム（操作部・リレー部・コード類）の収納方法は、月日が過ぎてからでも、事故や火災などのアクシデントを引き起す原因になります。下記の注意を守って作業を行なってください。



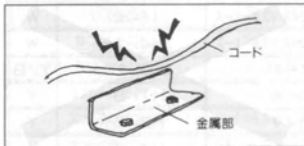
作業中、イグニッションキーは必ず抜き、ATシフトはP、ハンドブレーキをしっかりと利かせてください。



●ピータイムを収納すると、ピータイムのコードや車のコードが移動してコードが車の金属部（ペダル・スプリング・鋭利な鉄板など）に触れやすくなります。

コードを収めるスペースで車の金属部がある場合、予め付属のコード保護テープを貼って置いてください。

（収納時にコードの被覆を削ってしまう事も防止してください。）



●コード保護テープは貼り直しができません。コードの配線確認や配線のやり直しなどを考えて、「コードではなく、金属部に貼ってください。」

●特にブレーキのスプリングは保護してあっても危険です。絶対にコードが触れない場所を選択して配線してください。



コード保護テープ



インシュロック(小)

据付



●操作部は両面テープでフラットな面に取付けてください。

●車のダッシュボードなどにそのまま両面テープを使用又は、貼り直しをすると、十分な接着力が得られません。

●両面テープを貼る面は中性洗剤などで完全に油分やよごれを落とし空ふきをしてから、貼り直しをせずに取付けてください。

●リレー部はリレー部固定用インシュロック（大）で車の配線などに共締めしてください。

インシュロック

車のL端子コードの色一覧表1

この表の中から、あなたのお車のL端子線の色をご確認の上、間違いないように配線して下さい。

1996.7月現在

B	BR	CH	DG	G	GY	L	LG	OR	P	R	SR	W	Y
黒	茶	こげ茶	暗緑	緑	灰色	青	若葉色	褐色	桃色	赤	空色	白	黄

TOYOTA

	年 式	L端子の色
スターレット	S59. 1~	Y/W
スターレット	H1.12~(4E-F 1N)	Y/B
スターレット	H1.12~(その他)	Y/R
カローラⅠ・ターセル・コルサ	S61.5~(ガソリン)	Y/R
カローラⅠ・ターセル・コルサ	S61.5~(ディーゼル)	Y
カローラⅠ・ターセル・コルサ	H2. 9~	Y
カローラⅠ・ターセル・コルサ	H6. 9~	Y/B
サイノス	H3. 1~	Y/B
セラ	H2. 3~	Y/B
セレス・マリノ	H3. 6~	Y
カローラ・スプリンター・レビントレノ	S62. 5~	Y
カローラ・スプリンター・レビントレノ	H3. 6~	Y
カローラ・スプリンター・レビントレノ	H7. 5~	Y
カローラFX	S60. 5~	Y
カローラFX	H1. 6~	Y
カリブ	全 車	Y
MR 2	S59. 6~	Y
MR 2	H1. 10~	Y
セリカ	S58. 5~	Y
セリカ	H1. 9~	Y
セリカ	H5. 10~	Y
カレン	H6. 1~	Y
カーナ・コロナ	H1.8~(3E-J)	Y/W
カーナ・コロナ	H1.8~(その他)	Y
カーナ・コロナ	H4. 8~	Y/R
ED・EXIV	H1. 9~	Y
ED・EXIV	H5. 10~	Y
カルティナ	H4. 11~	Y/R
カムリ・ビスタ	S61. 8~	Y
カムリ・ビスタ	H2. 7~	Y
カムリ・ビスタ	H6. 7~	Y
ウインダム	H3. 9~	Y

	年 式	L端子の色
アバロン	H7. 5~	Y
セプター	H4. 8~	Y
マークⅡ・クレスト・チェイサー	S63. 9~	Y
マークⅡ・クレスト・チェイサー	H4. 5~	Y/G
スープラ	S61. 2~	Y
スープラ	H5. 5~	Y/G
ソアラ	S59. 1~	Y
ソアラ	S63. 1~	Y/G
ソアラ	H3. 5~	Y/G
アリスト	H3. 10~	Y
クラウン	S62. 9~	Y
クラウン	H3. 10~	Y
マジェスタ	H3. 10~	Y
セルシオ	H1. 1~	Y
セルシオ	H5. 10~	Y
タウンエース・ライトエース・マスターエース	S60.8~(4/5K-J)	Y
タウンエース・ライトエース・マスターエース	(その他)	W
タウンエース・ライトエース・マスターエース	H4. 1~	W
ハイエース	S57. 12~	Y/B
ハイエース	H1. 9~	Y
エスティマ	H2. 5~	Y
エスティマ・ルシダ・エミーナ	H4. 1~	Y
RAV-4	H6. 5~	Y
ハイラックス	S63. 9~	Y/B
ハイラックス	H2.8~(3Y-E)	Y
ハイラックス	(その他)	Y/B
ハイラックス	H3.9~(3VZ-E)	Y
ハイラックス	H3.9~(その他)	Y/B
ランドクルーザープラド	全 車	W/L
ランドクルーザー80	H1.9~H6.12	Y/W
ランドクルーザー80	H7. 1~	Y/L

車のL端子コードの色一覧表2

NISSAN

	年式	L端子の色		年式	L端子の色
マーチ	S63.5~(MAIOS)	R		ローレル	H6.9~ W/R
マーチ	S63.5~(その他)	W/R		レパード	S60.10~ W/B
マーチ	H4.1~	Y/R		レパードJフェリー	H4.6~ B/Y
Be-1・パオ・フィガロ	S62.1~	W/R		クルー	H6.1~ GY/Y
サニー・ローレルスピリット	H2.1~	Y/R		セドリック・グロリア	S62.6~ LG/B
サニー・ルキノ	H6.1~	Y/R		セドリック・グロリア	H3.6~ Y/G
NXクーペ	H4.1~	Y/R		セドリック・グロリア	H7.6~ W/R
パルサー	H2.7~	Y/R		フェアレディZ	S58.9~ BR/W
パルサー	H7.1~	Y/R		フェアレディZ	H1.7~ W/R
アベニール	H2.5~	Y		シーマ	S63.1~ LG/B
プリメーラ	H2.2~	Y/R		シーマ	H5.9~ Y/G
プレセア	H2.6~	Y/R		インフィニティQ45	H1.11~ W/R
プレセア	H7.1~	Y/R		プレジデント	H2.10~ W/R
ブルーバード・ブルーバードアターサ	S63.9~	W/R		プレーリー	S63.9~ W/R
ブルーバード・ブルーバードアターサ	H3.9~	Y/R		パネットラルゴ	S60.8~ Y
ラングレー・リベルタピラ	S60.9~	W/R		ラルゴ	H5.9~ W/R
シルビア	S63.5~	W/R		セレナ	H3.9~ W/R
シルビア	H5.10~	W/R		キャラバンホーミー	S63.5~ W/R
180SX	H1.3~	W/R		キャラバンホーミー	H2.5~ W/R
セフィーロ	S63.9~	W/R		ラシーン	H6.12~ Y/R
セフィーロ	H6.8~	W/R		テラノ	S61.8~ Y/B
スカイライン	S60.8~	W/B		ミストラル	H6.6~ GY/L
スカイライン	H1.5~	W/R		サファリ	H6.10~ W/R
スカイライン	H5.8~	W/R		エスカルゴ	H1.1~ W/R
ローレル	H1.1~	W/R		ADワゴン・サニー・カルフォルニア	H5.8~ Y/R

車の「端子コード」の色一覧表

